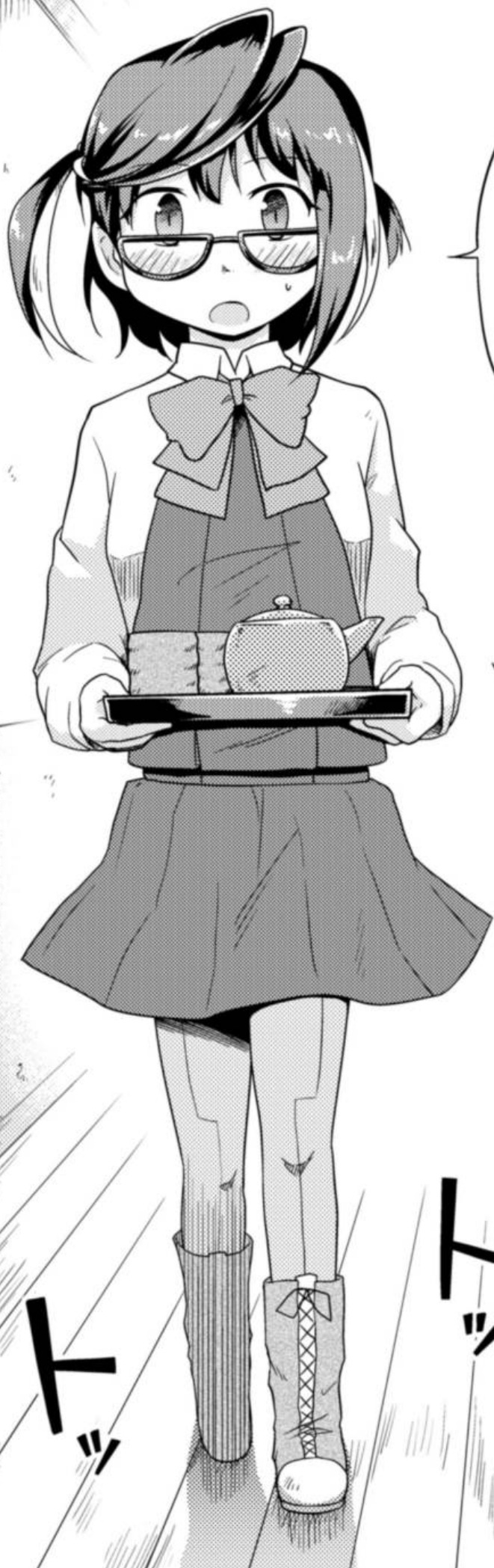




オキ
沖
オミ
皮
コメ
内
ウチ

ツキトコオリノ
双月氷雨 フタツキ
ヒサメ

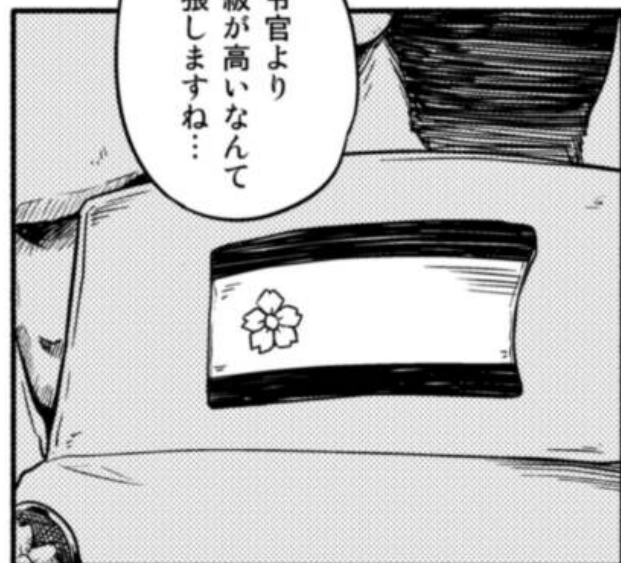
R18
Adult
Only



お茶の出し方は
いつも通りで
良いんですけどっけ…



将校様自ら
お越しになるとは
一体
何事なのでしょうか



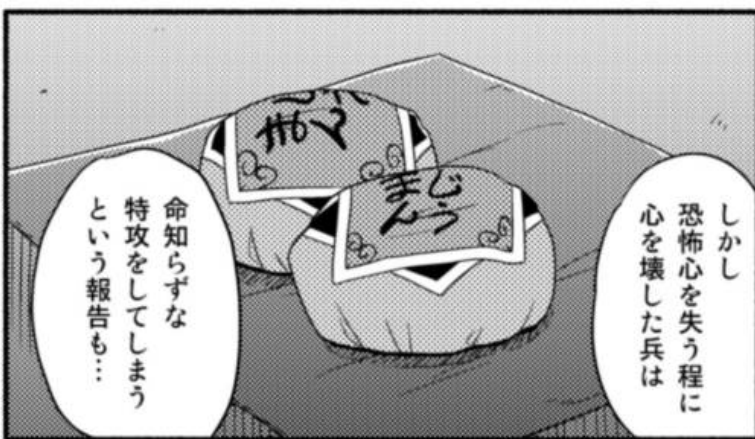
司令官より
階級が高いなんて
緊張しますね…



恐怖心を
無くす薬…



恐怖こそが
最大の敵だ
如何に訓練
しようとも
綻びは多い



命知らずな
特攻をしてしまう
という報告も…

しかし
恐怖心を失う程に
心を壊した兵は



確かに…
歴戦の猛者として
恐怖は感じると
聞きます



だからこそ
微調整を要すると
機関が煩いのだ
彼女達は
実験体じゃ
ありませんよ



お茶を
お持ちしました

ですが
安易に使うのは
考えものかと

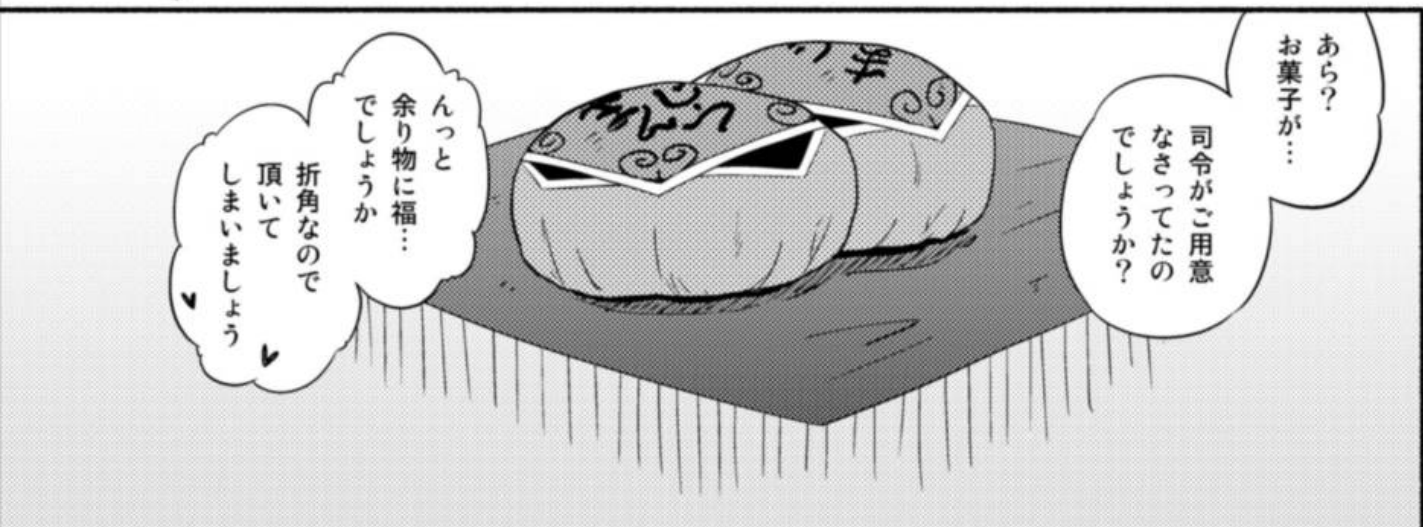
当然
奥の手として
一考はします

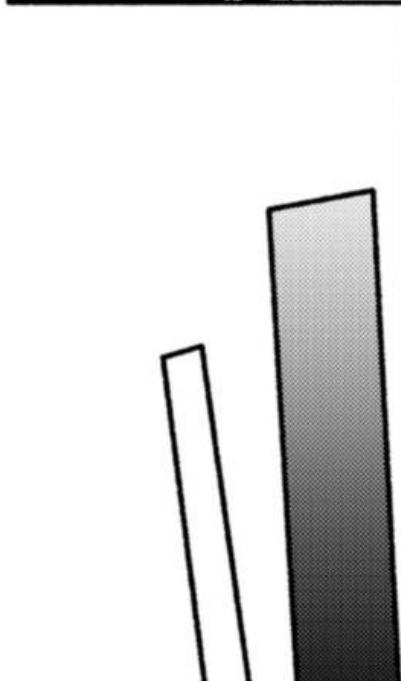
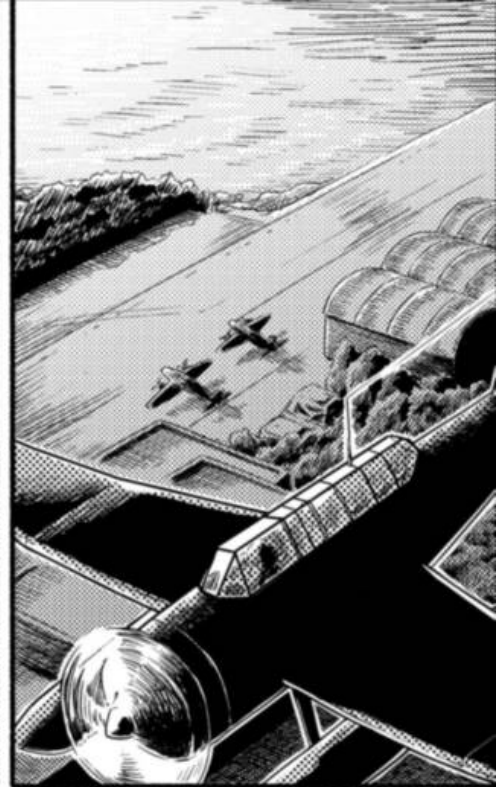


ガチャ

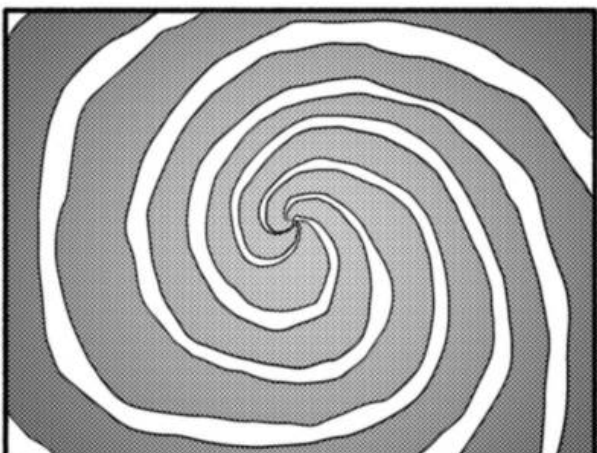


5











それより
司令官…

いえ…
沖波は
大丈夫です



沖波
もういい休め

えっ？

体調が悪いなら
無理せずに…



なっ

沖波…
体が熱くて
堪らないんです

あれっ…
私…今何を
して来たのっ…っ

私ずっと
司令官の事

好きだったん
ですよ…?

あ…っ
沖波 お前まさか
あの和菓子を食べたか?!

ダ
ダ
ダ

それとも
沖波じゃ…

ダメですか…?



恐怖心を無くす
なごとは
聞いていたが

あの沖波をどうも
変えてしまつたのか!?

ネッ



司令官…
沖波はいつも

待つんだ
沖波…

想いを伝えられずに
ヤキモキしてたん
です…

正気を失って
いつもの君じゃ
ない……っ



いや…
まともでないのは
確かだが

これは
『知られる恐怖』を
失って出てくる
彼女の本音なのか
………?

出会った頃から
いつも優しく
気遣ってくれて

秘書艦に
選んでくれた時は
舞い上がって

夜も眠れずに
ずっとこのままで
いたら……っ

これが沖波の
心に秘めた声…

す…すまない

君の想いに
何も気付けず

そんなに
悩ませていたのか…

司令官…♥

いやいやいや

素直にそれに
返答してる場合じゃ
なくて

やっと気づいて
くれたんですね

沖波
嬉しいです

今は
「怖くない」から
言えてしまっただ

本音が…
純粋な気持ちか…



私も随分
情けない男だ



あんな薬に
後押し
されなければ

乙女心の一つも
分かって
やれないとは――

沖波の口から
隠語なんて

普通じゃ
絶対聞けないな

ちゅん...

司令官が
そんなえっちな
手つきするの
初めて見ます...

大胆な沖波も
初めて見るよ...

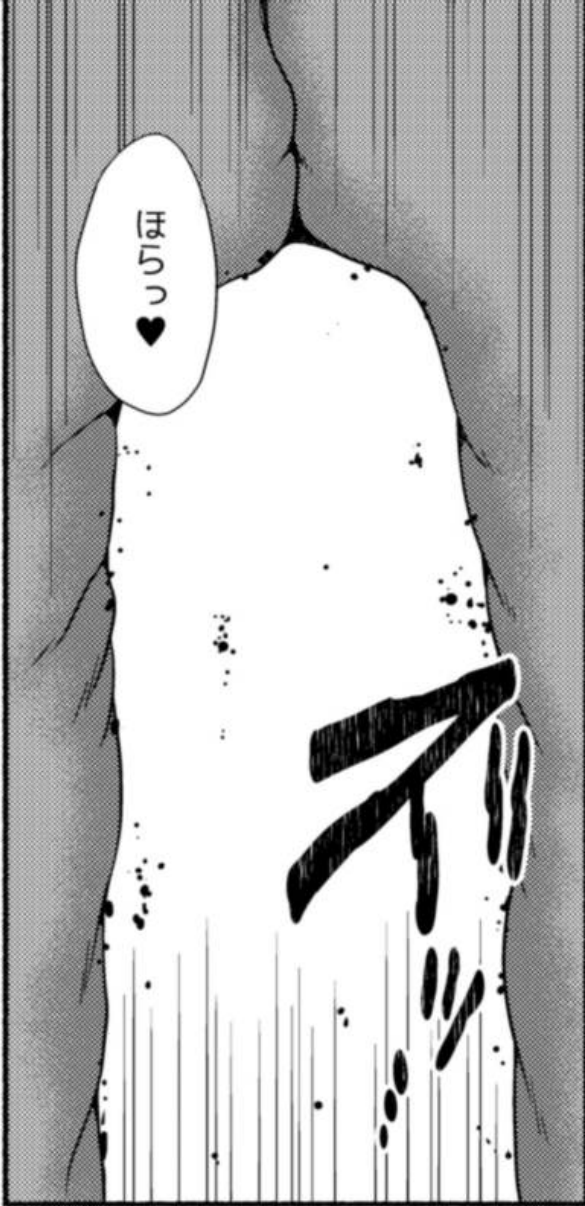
沖波の
おまんこが
丸見えです

率直な表現：
これも恐れが
無いからか

お、お、お

お、お、お







し…
司令…?

秘書が主導権
握ってどうする
つもりだ



全く
不慣れな事を
しおって

がばっ



そうですね
それじゃあ
お任せします♥

初めてですから
どうか
お手柔らかに♥

るん♡



じゃあ...
先ずは開通式を
終えないとな



ひくっ
うっ...



痛いですが
痛いですから
ちよっと...

司令官っ



酷おい...
優しくって
言ったのに...

ズキッ
...入ったよ

ズキッ





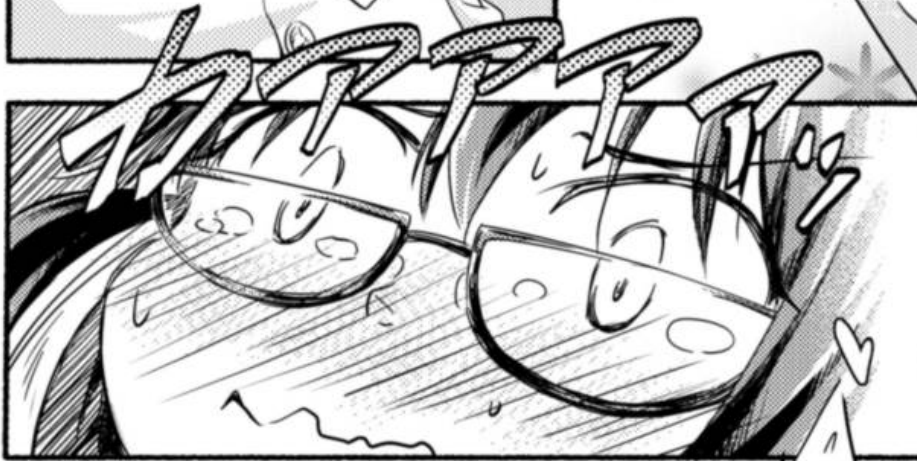
ドキッ

は...

あの...
司令...官...

まさかこの
タイミングで

薬の効果が
切れるのか?!



カアアア



それは...
あんなの
無効ですよおっ!!

待てっこれは
君は自ら脱いで
きただろうっ!?

キャー

何て事
するんですかっ!?

何てっ

早く結婚しろよ... 早く

七
十

中

三七

支
社

七
十

心

七
十
の
心
内



奥付

誌名：沖波の心内

制作：ツキトコオリノ

著者：双月氷雨

印刷：有限会社ねこのしっぽ

発行：2017年5月7日

PixivID：17131

Twitter：@sniflaye

Mail：rona_hf@hotmail.com

無断での複製・転載は禁止しています